



高森警察署からのお知らせ

☎0967-62-0110
事件・事故110

夏期における 水難事故の防止

県内では、過去5年間、河川、湖、海等において113件の水難事故が発生し、このうち68人の方が命を落とされています。これからの時期は水難事故の増加も懸念されます。水難事故に遭わないためにも、特に次のことに注意してください。

- 子どもだけでの水遊びはさせない
- 子どもから目を離さない
- 浮き輪やロープ等の救命用具を準備しておく
- 河川での水遊び中に天候や水量の変化に気づいたら、すぐに川から上がる
- 救助するときはむやみに入水せず、ペットボトルなどの浮く物を投げ入れる

匿名通報ダイヤルについて

匿名通報ダイヤルとは、反社会勢力による組織犯罪の検挙や実態解明、被害者の早期保護のため、警察庁の委託を受けた民間団体が、通報を匿名で受け付け、これを警察に提供し、捜査に役立てるというものです。

事件検挙など貢献があったと認められれば、通報者に**最高100万円**の情報料を支払うという制度になります。

【対象事件】

- ① 暴力団や匿名・流動型犯罪グループが関与する犯罪
- ② 薬物や拳銃に関する事案
- ③ 特殊詐欺に関する事案
- ④ 少年の心身に有害な影響を与える悪質な犯罪や児童虐待事案 など

◆匿名通報フリーコール ☎0120-924-839

◆右の二次元コードからの通報も可能です



警察官B・警察事務職員の募集 ～8月14日(金)まで受付中～

採用試験の受験申込みは、インターネットによる申込みとしています。
採用試験日程等の詳細については、熊本県警察ホームページで確認してください。
社会人経験者等、転職を考えている方の受験也大歓迎です！

お問い合わせは 熊本県警察本部警務部警務課採用係 ☎096-381-0110まで！

Instagramでは
警察学校や業務の様子などを
配信中！

▼詳細はこちら▼



HP



Instagram



なんでも南部分署

☎0967-62-9034 火災・救急119

河川やプール等での 水の事故を防止しよう！

夏は河川でバーベキューをしたり、プール等に出かけたりする機会が増えて楽しい季節ですが、おぼれて救急搬送される事故も、この時期に多くなります。

河川やプール等でおぼれる事故は、生命を脅かす事故となる可能性が高いことから、十分な注意が必要です。

河川やプール等で水の事故を防ぐために

- ・小さい子供と一緒に水遊びする際は、子供から目を離さず、保護者や大人が必ず付き添って遊びましょう。
- ・飲酒後や体調不良の時は遊泳を行わず、そのような人が遊泳しようとしている時は、遊泳をやめさせましょう。
- ・海や河川では、気象状況に注意を払い、荒天時や天候不良が予想される場合は、遊泳や川岸等でのレジャーを中止しましょう。
- ・海や河川では、ライフジャケットを着るなど、事故の未然防止に努めましょう。

【溺れてしまった人の基本動作】

- 1 背浮きで呼吸を確保
- 2 身近な浮遊体で、浮き時間を伸ばす

【発見者・救助者の基本動作】

- 1 ペットボトルや靴、靴等、浮力のある物を相手に投げる
- 2 「子どもを見守る人」「通報する人」に分かれ消防119番に通報
- 3 溺れてしまった人に声掛けを忘れない

【溺れてしまったときにやってはいけないこと】

- 1 水面から顔を出し、息を吸おうと試みる
- 2 手を挙げて助けを試みる

この二つをやってはいけない理由が、体が水面に対して垂直になり、水面下に沈みやすくなるためです。冷静な判断が難しくなる上、体が沈むことで水を吸い込んでしまい呼吸困難となります。着衣のまま水難事故に遭遇するケースが多く、靴や洋服を身に着けた状態で泳ぐことは至難の業です。

そんな緊急時に思い出してほしいのが

おぼれた時の合言葉
『浮いて待て!!』

これらのことを覚えて、もしものことの出来事に対応できるようにしていきましょう！

